



2025年2月28日

各位

会社名 株式会社 稲葉製作所
代表者名 代表取締役社長 稲葉裕次郎
(コード: 3421 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役経理部長 武田 浩
(電話: 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年9月13日に公表しました2025年7月期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年7月期第2四半期(中間期)の連結業績予想数値の修正(2024年8月1日~2025年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,030	1,340	1,520	1,030	63.95
今回修正予想(B)	19,840	520	690	440	27.30
増減額(B-A)	△1,190	△820	△830	△590	
増減率(%)	△5.7	△61.2	△54.6	△57.3	
(参考) 前期実績	20,041	1,363	1,544	1,136	68.92

2. 2025年7月期通期の連結業績予想数値の修正(2024年8月1日~2025年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,290	3,240	3,600	2,450	152.12
今回修正予想(B)	42,820	1,750	2,070	1,410	87.39
増減額(B-A)	△1,470	△1,490	△1,530	△1,040	
増減率(%)	△3.3	△46.0	△42.5	△42.4	
(参考) 前期実績	42,414	3,064	3,402	2,441	148.91

3. 修正の理由

鋼製物置事業については、価格改定効果が一巡したことから、需要の回復を見込んでいましたが、当社想定よりも回復が遅れているため、鋼製物置の販売が計画を下回る見通しとなりました。これは、物価上昇による買い控えが考えられ、このところの物価上昇が耐久消費財である鋼製物置の購買意欲に悪影響となっているとみられます。オフィス家具事業については、コミュニケーションの活性化や人材確保などにつながるオフィス環境の見直しが続いており、受注増を見込んでいましたが、価格競争の影響を受けて、オフィス家具の販売も計画を下回る見通しとなりました。

利益については、売上高が計画を下回ること、生産高低下により原価率が上昇すること、及び生産移管等による経費増などから、各段階利益が押し下げられ、計画を下回る見通しとなりました。

このため、2025年7月期第2四半期（中間期）の連結業績については、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも前回発表予想を下回る見通しであります。

通期についても、厳しい事業環境は足許においても改善がみられず、上記を踏まえて見直しを行ったものであります。

なお、現時点では、2025年7月期の配当予想についての変更はございません。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上